

**相模原・津久井地域の合併に関する市民アンケート調査
結果報告書**

平成16年12月

相模原市 広域行政推進課

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査概要	1
3 地域区分	1
4 報告書の見方	2
5 標本誤差	2
調査回答者の属性	3
1 性別	3
2 年齢別	3
3 地域別	3
4 居住歴別	3
調査結果	4
1 合併協議の認知度	4
1 - 2 合併協議に関する情報の取得方法	6
2 全国的に合併協議が進められていることについて	7
3 相模原市が津久井郡3町と合併することについて	9
3 - 2 合併した場合の効果	13
3 - 3 合併に否定的な理由	14
4 自由意見	15
(1) 合併の賛否とその理由に関すること	15
(2) 合併協議の進め方と住民への周知に関すること	16
(3) 住民投票に関すること	17
(4) 合併の枠組みに関すること	17
(5) まちづくり将来ビジョンと財政シミュレーションに関すること	18
(6) その他合併に関すること	19

調査結果の集計表

使用した調査票

調査の概要

1 調査の目的

相模原・津久井地域合併協議会における合併協議について、一定の成果が得られ、市民に合併した場合の具体的な情報を合併協議会だよりなどにより提供し、またシンポジウムやタウンミーティングの開催などにより説明した段階で、合併協議に関する市民の意向や意見を把握し、今後、法定協議会に移行し合併協議を進めるにあたっての参考とするため実施した。

2 調査概要

- (1) 調査地域 相模原市の全域
- (2) 調査対象 相模原市に居住する、平成16年4月1日現在で満18歳以上の市民
10,000人(住民基本台帳登録者の内から無作為抽出)
- (3) 調査方法 郵送によりアンケート調査票及び合併シンポジウム・タウンミーティングで使用した市町村合併に関する参考資料を送付し郵便により回収。
- (4) 調査期間 平成16年11月8日(月)から12月1日(水)まで
- (5) 調査内容 合併協議の認知度について
合併協議に関する情報の取得方法について
全国的に合併協議が進められていることについて
相模原市が津久井郡3町と合併することについて
合併した場合の効果について
合併に否定的な理由について
自由意見
調査対象者の属性(年齢・性別・居住地区・居住歴)
- (6) 有効回収数(率) 3,532(35.8%)
10,000人に発送した内、不着分を除く9,869件を対象

3 地域区分

地域別の特性を把握するため、相模原市を北部地域と南部地域に区分した。地域区分は下表のとおりである。

地域区分	対象町名・字名
北部地域	相原・大山町・西橋本・二本松・橋本・橋本台・東橋本・元橋本町・大島・上九沢・下九沢・相生・青葉・小山・向陽町・小町通・相模原・すすきの町・清新・中央・千代田・並木・光が丘・氷川町・富士見・星が丘・松が丘・緑が丘・宮下・宮下本町・南橋本・弥栄・矢部・横山・横山台・陽光台・鹿沼台・上矢部・共和・高根・東淵野辺・淵野辺・淵野辺本町・矢部新田・矢部新町・由野台・田名・田名塩田・上溝
南部地域	鵜野森・大野台・古淵・西大沼・東大沼・若松・当麻・下溝・旭町・上鶴間・上鶴間本町・栄町・相模大野・文京・御園・豊町・相南・東林間・松が枝町・麻溝台・北里・相模台・相模台団地・桜台・双葉・南台・新磯野・相武台・相武台団地・磯部・新戸

4 報告書の見方

- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 図表中、小数点以下1位までの数値は百分率(%)、整数は回答者数(人)である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 図表中の「n」とは回答者総数(またはその質問での該当者数)のことである。

5 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、比率算出の基数(n)、回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(100 - P)}{n}} \times \pm 1.96$$

N = 母集団数(相模原市の18歳以上人口)

n = 比率算出の基数(回答者数)

P = 回答の比率(%)

例えば、回答者総数(3,532人)を100%とする比率について、ある質問の回答の比率が50%であった場合の標本の誤差を計算すると、

$$\sqrt{\frac{502,400 - 3,532}{502,400 - 1} \times \frac{50(100 - 50)}{3,532}} \times 1.96 = 1.64$$

標本誤差は1.64となる。

回答者総数(3,532人)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%のとき、相模原市民(18歳以上)のこの質問に対する回答は、48.36%から51.64%の間にあると考えてよいことになる。

調査回答者の属性

1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	1,674	47.4
2 女性	1,839	52.1
(無回答)	19	0.5
合計	3,532	100.0

2 年齢別

	基数(人)	構成比(%)
1 10歳代 20歳代	481	13.6
2 30歳代	746	21.1
3 40歳代	536	15.2
4 50歳代	485	13.7
5 60歳以上	1,256	35.6
(無回答)	28	0.8
合計	3,532	100.0

3 地域別

	基数(人)	構成比(%)
1 北部地域	2,007	56.8
2 南部地域	1,502	42.5
(無回答)	23	0.7
合計	3,532	100.0

4 居住歴別

	基数(人)	構成比(%)
1 5年未満	504	14.3
2 5年以上10年未満	420	11.9
3 10年以上20年未満	665	18.8
4 20年以上	1,923	54.4
(無回答)	20	0.6
合計	3,532	100.0

調査結果

1 合併協議の認知度

「知っていた」が約8割となっています。

問1 . あなたは、相模原市が、津久井郡3町（城山町・津久井町・相模湖町）と「相模原・津久井地域合併協議会」を設立し、合併協議を進めていることを知っていましたか。（ は1つだけ）

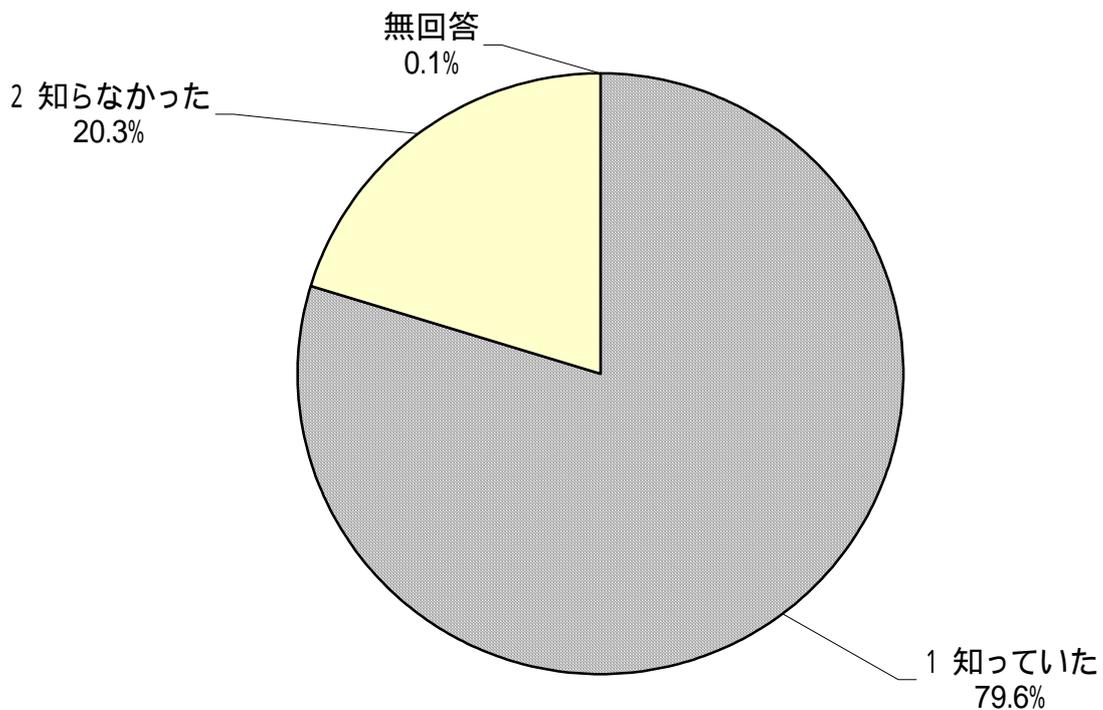
[n = 3 , 5 3 2]

1 知っていた	79.6%
2 知らなかった	20.3%
(無回答)	0.1%

市が津久井郡3町（城山町・津久井町・相模湖町）と「相模原・津久井地域合併協議会」を設立し、合併協議を行っていることについては、「知っていた」(79.6%)が、「知らなかった」(20.3%)を大きく上回っている。(図表1-1)

<図表1-1> 「相模原・津久井地域合併協議会」設立の認知度

n
全体(3,532)



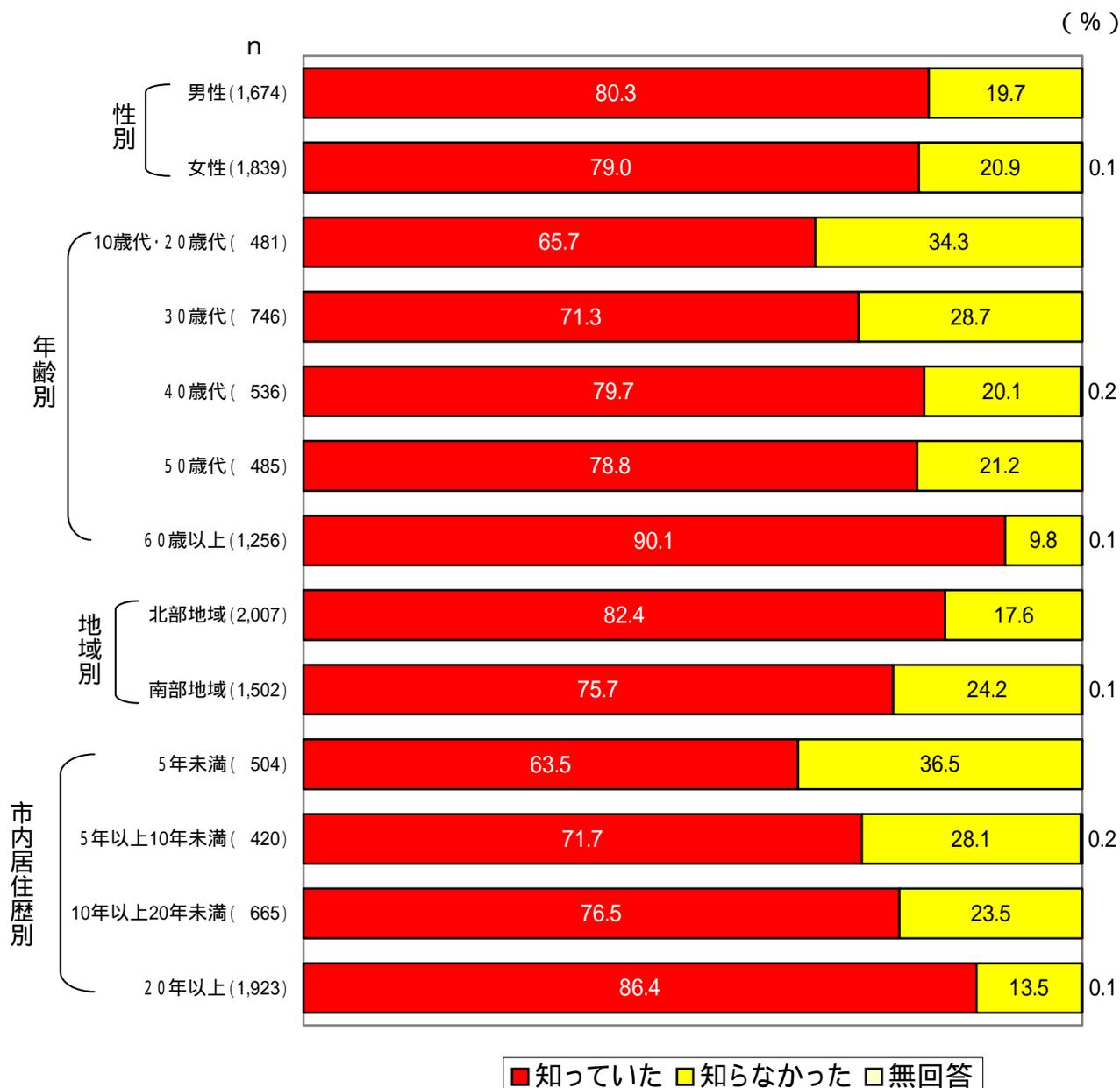
性別で見ると、「知っていた」と答えた方は男性が80.3%、女性が79.0%となっており、「知らなかった」と答えた方は男性が19.7%、女性が20.9%となっています。

年齢別で見ると、「知っていた」と答えた方は60歳以上(90.1%)が最も高く、10歳代・20歳代(65.7%)が最も低くなっている。

地域別にみると、いずれの地域でも「知っていた」は75%以上を占めている。特に北部地域では82.4%と高くなっている。

居住歴別にみると、「知っていた」と答えた方は5年未満在住者(63.5%)が最も低く、居住歴が長くなるにつれて増加傾向を示し、20年以上在住者では86.4%となっている。

<図表1-2> 性別・年齢別・地域別・市内居住歴別



1 - 2 合併協議に関する情報の取得方法

「広報さがみはら」が6割を超えています。

問1 - 2 問1で「1 知っていた」とお答えした方にお伺いします。

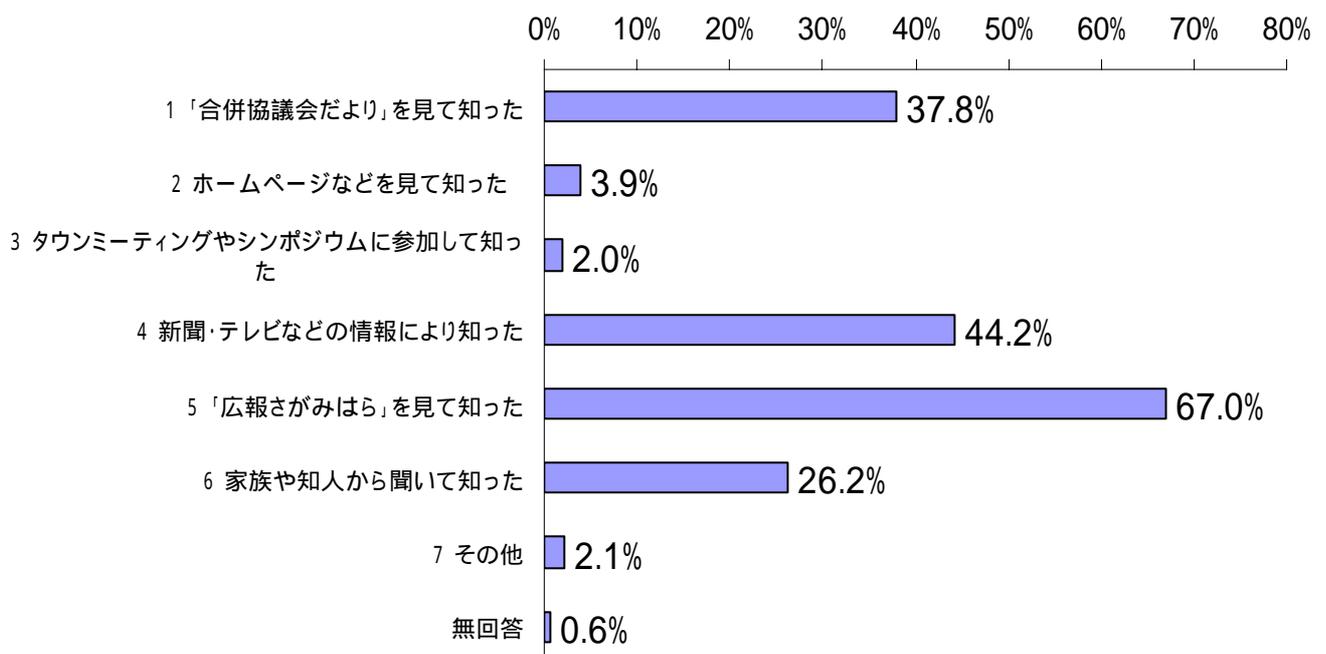
あなたは、「相模原・津久井地域合併協議会」で協議を進めていることについて、どのような方法で知りましたか。(はあてはまるものすべて)

[n = 2 , 8 1 2]

1 「合併協議会だより」を見て知った	37.8%
2 ホームページなどを見て知った	3.9%
3 タウンミーティングやシンポジウムに参加して知った	2.0%
4 新聞・テレビなどの情報により知った	44.2%
5 「広報さがみはら」を見て知った	67.0%
6 家族や知人から聞いて知った	26.2%
7 その他	2.1%
(無回答)	0.6%

相模原・津久井地域合併協議会」で協議を進めていることについて、どのような方法で知ったかについては、「広報さがみはら」(67.0%)が6割を超え、次いで「新聞・テレビなどの情報」(44.2%)が4割台、「合併協議会だより」(37.8%)が3割台となっている。
(図表1 - 2 - 1)

<図表1 - 2 - 1> 合併協議に関する情報の取得方法



2 全国的に合併協議が進められていることについて

「合併により、議会の議員や首長、公務員を減らし経費を節減する必要があると思う」(44.3%)が最も高い割合となっています。

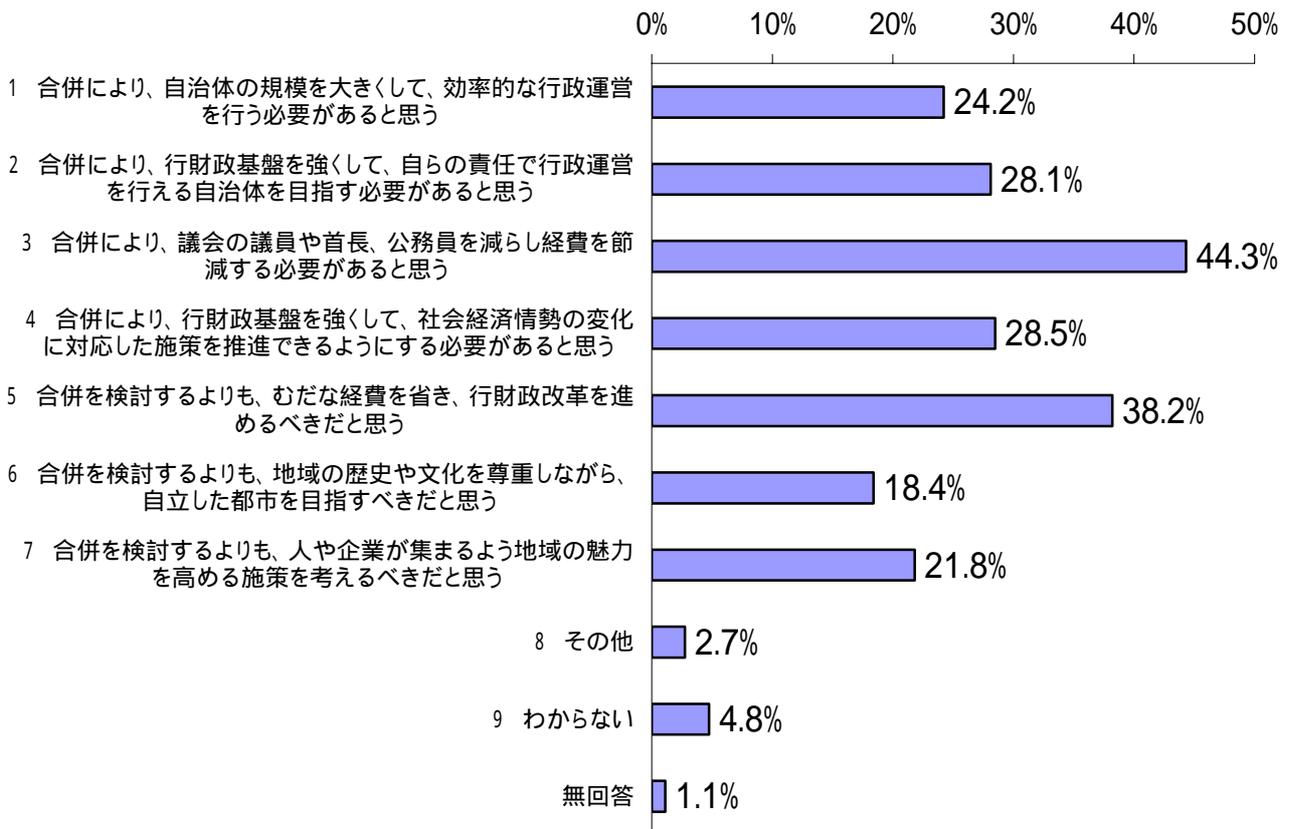
問2 少子高齢社会の到来や、地方分権が進む中で、地方自治体は行財政基盤を強くして、自立していくことが求められています。このため、全国的に多くの自治体で合併協議が進められていることについて、どのように考えますか。(はあてはまるものすべて)

[n = 3,532]

1 合併により、自治体の規模を大きくして、効率的な行政運営を行う必要があると思う	24.2%
2 合併により、行財政基盤を強くして、自らの責任で行政運営を行える自治体を目指す必要があると思う	28.1%
3 合併により、議会の議員や首長、公務員を減らし経費を節減する必要があると思う	44.3%
4 合併により、行財政基盤を強くして、社会経済情勢の変化に対応した施策を推進できるようにする必要があると思う	28.5%
5 合併を検討するよりも、むだな経費を省き、行財政改革を進めるべきだと思う	38.2%
6 合併を検討するよりも、地域の歴史や文化を尊重しながら、自立した都市を目指すべきだと思う	18.4%
7 合併を検討するよりも、人や企業が集まるよう地域の魅力を高める施策を考えるべきだと思う	21.8%
8 その他	2.7%
9 わからない	4.8%
(無回答)	1.1%

全国的に合併協議が進められていることについては、「合併により、議会の議員や首長、公務員を減らし経費を節減する必要があると思う」(44.3%)が最も高く、「合併を検討するよりも、むだな経費を省き、行財政改革を進めるべきだと思う」(38.2%)「合併により、行財政基盤を強くして、社会経済情勢の変化に対応した施策を推進できるようにする必要があると思う」(28.5%)「合併により、行財政基盤を強くして、自らの責任で行政運営を行える自治体を目指す必要があると思う」(28.1%)と続いています。(図表2)

<図表2> 全国的に合併協議が進められていることについて



3 相模原市が津久井郡3町と合併することについて

合併を容認する方が約46%となっています。

問3 相模原市が津久井郡3町と合併することについてどのようにお考えですか。(は1つだけ)

[n = 3,532]

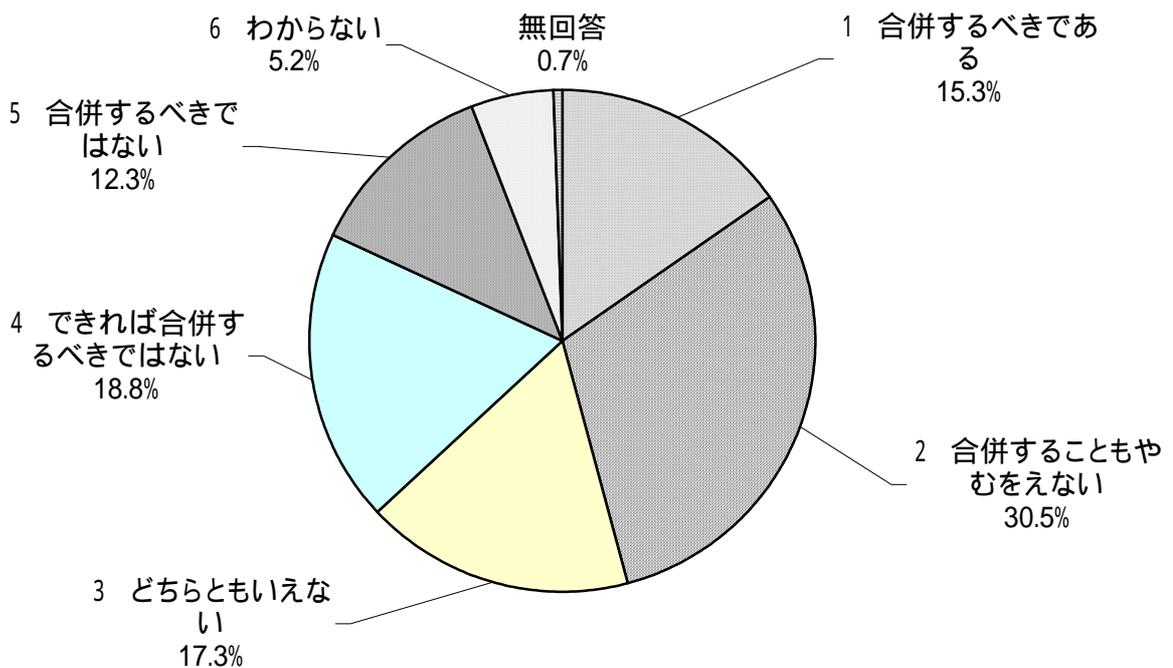
1 合併するべきである	15.3%
2 合併することもやむをえない	30.5%
3 どちらともいえない	17.3%
4 できれば合併するべきではない	18.8%
5 合併するべきではない	12.3%
6 わからない	5.2%
(無回答)	0.7%

「合併するべきである」(15.3%)、「合併することもやむをえない」(30.5%)を合わせた合併を容認する方が約46%、「できれば合併するべきではない」(18.8%)、「合併するべきではない」(12.3%)を合わせた合併に否定的な方が約31%となっています。

一方で「どちらともいえない」(17.3%)、「わからない・無回答」(5.9%)が合わせて約23%となっています。(図表3-1)

<図表3-1> 相模原市が津久井郡3町と合併することについて

n
全体(3,532)



性別でみると、「合併するべきである」「合併することもやむをえない」を合わせた合併を容認する方(以下「合併を容認する方」という。)は、男性では52.8%と5割を超え、女性(39.4%)を13ポイント程度上回っています。また、「できれば合併するべきではない」「合併するべきではない」を合わせた合併に否定的な方(以下「合併に否定的な方」という。)は、男性が29.6%、女性が32.7%と、女性が男性を3ポイント程度上回っています。一方「どちらともいえない」と回答された方は、女性(20.8%)が男性(13.4%)を7ポイント程度上回っています。

年齢別でみると、合併を容認する方は、60歳以上(53.4%)が最も多く、50歳代(47.8%)、10歳代・20歳代(41.7%)と続いています。また、合併に否定的な方は、40歳代(35.5%)が最も多く、30歳代(33.9%)、50歳代(32.8%)と続いています。一方「どちらともいえない」と回答された方は30歳代(23.9%)が最も多く、10歳代・20歳代(23.1%)、40歳代(17.0%)と続いています。

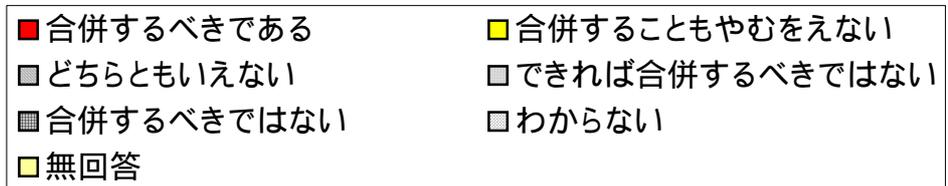
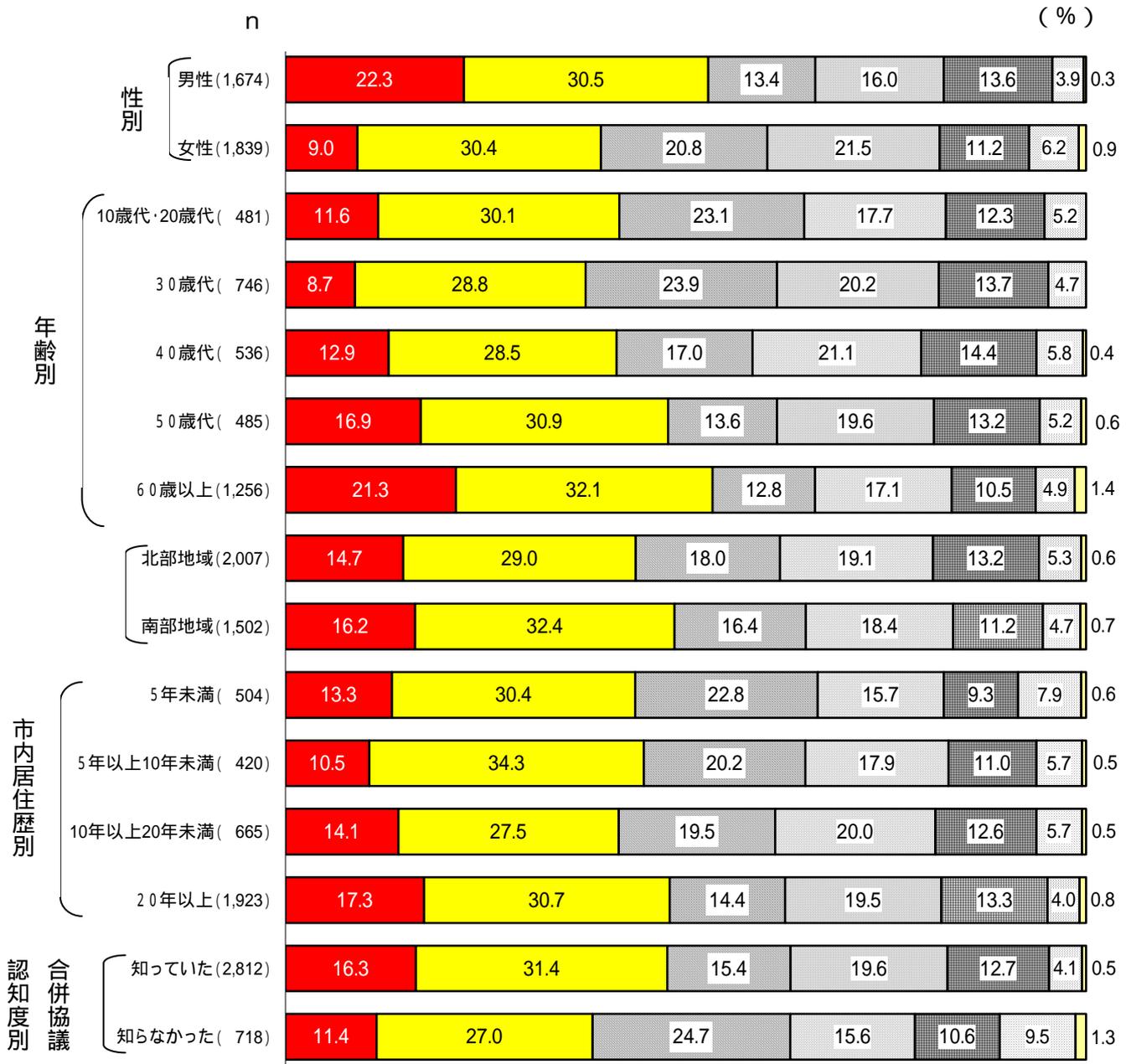
地域別にみると、合併を容認する方は、北部地域が43.7%、南部地域が48.6%と、南部地域が北部地域より5ポイント程度多くなっています。また、合併に否定的な方は、北部地域が32.3%、南部地域が29.6%と、北部地域が南部地域より3ポイント程度多くなっています。一方「どちらともいえない」と回答された方は、北部地域が18.0%、南部地域が16.4%となっています。

居住歴別にみると、合併を容認する方は、20年以上在住者(48.0%)が最も多く、5年以上10年未満在住者(44.8%)と続いています。また、合併に否定的な方は20年以上在住者(32.8%)が最も多く、10年以上20年未満在住者(32.6%)と続いています。

一方「どちらともいえない」と回答された方は5年未満在住者(22.8%)が最も多く、5年以上10年未満在住者(20.2%)と続いています。

合併協議の認知度別にみると、合併協議を行っていることを知っていた方では、合併を容認する方が47.7%、合併に否定的な方が32.3%、「どちらともいえない」と回答された方が15.4%となっています。また、合併協議を行っていることを知らなかった方では、合併を容認する方が、38.4%、合併に否定的な方が26.2%、「どちらともいえない」と回答された方が24.7%となっています。(図表3-2)

< 図表 3 - 2 > 性別・年齢別・地域別・市内在住歴別、「合併協議の認知度」別

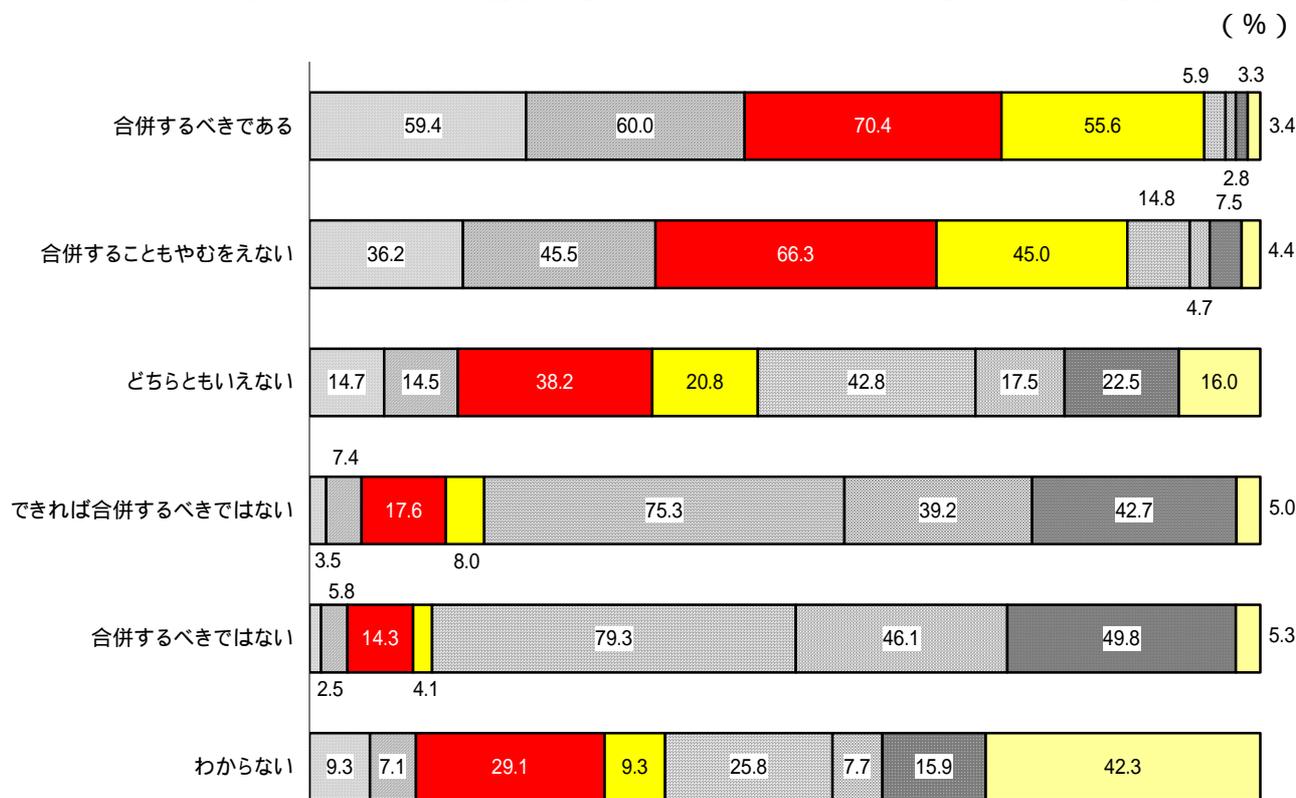


全国的に合併協議が進められていることについては、「合併するべきである」と答えた方の7割を超える方と「合併することもやむをえない」と答えた方の6割を超える方が、「合併により、議会の議員や首長、公務員を減らし経費を節減する必要があると思う」と答えている。「できれば合併するべきではない」「合併するべきではない」と答えた方では7割を超える方が、「合併を検討するよりも、むだな経費を省き、行財政改革を進めるべきだと思う」と答えている。

また、合併について「どちらともいえない」と答えた方では、「合併を検討するよりもむだな経費を省き行財政改革を進めるべきだと思う」が42.8%と最も多く、「合併により、議会の議員や首長、公務員を減らし経費を節減する必要があると思う」が38.2%と続いています。

なお、「合併するべきである」と答えた方の59.4%、「合併することもやむをえない」と答えた方の36.2%の方が「合併を検討するよりもむだな経費を省き行財政改革を進めるべきだと思う」と答えており、逆に「できれば合併するべきではない」と答えた方の17.6%、「合併するべきではない」と答えた方の14.3%の方が「合併により、議会の議員や首長、公務員を減らし経費を節減する必要があると思う」と答えています。(図表3-3)

<図表3-3> 問2「全国的に合併協議が進められていることについて」とのクロス分析



- 合併により、自治体の規模を大きくして、効率的な行政運営を行う必要があると思う
- 合併により、行財政基盤を強くして、自らの責任で行政運営を行える自治体を目指す必要があると思う
- 合併により、議会の議員や首長、公務員を減らし経費を節減する必要があると思う
- 合併により、行財政基盤を強くして、社会経済情勢の変化に対応した施策を推進できるようにする必要があると思う
- 合併を検討するよりも、むだな経費を省き、行財政改革を進めるべきだと思う
- 合併を検討するよりも、地域の歴史や文化を尊重しながら、自立した都市を目指すべきだと思う
- 合併を検討するよりも、人や企業が集まるよう地域の魅力を高める施策を考えるべきだと思う
- その他・わからない・無回答

3 - 2 合併した場合の効果

「行政事務の効率化や職員・議員数が減ることに伴う経費の節減」(58.1%)が最も高い割合となっています。

問3 - 2 問3で「1 合併するべきである」「2 合併することもやむをえない」とお答えした方におうかがいします。

相模原市が、津久井郡3町と合併した場合、あなたはどのような効果を期待しますか。

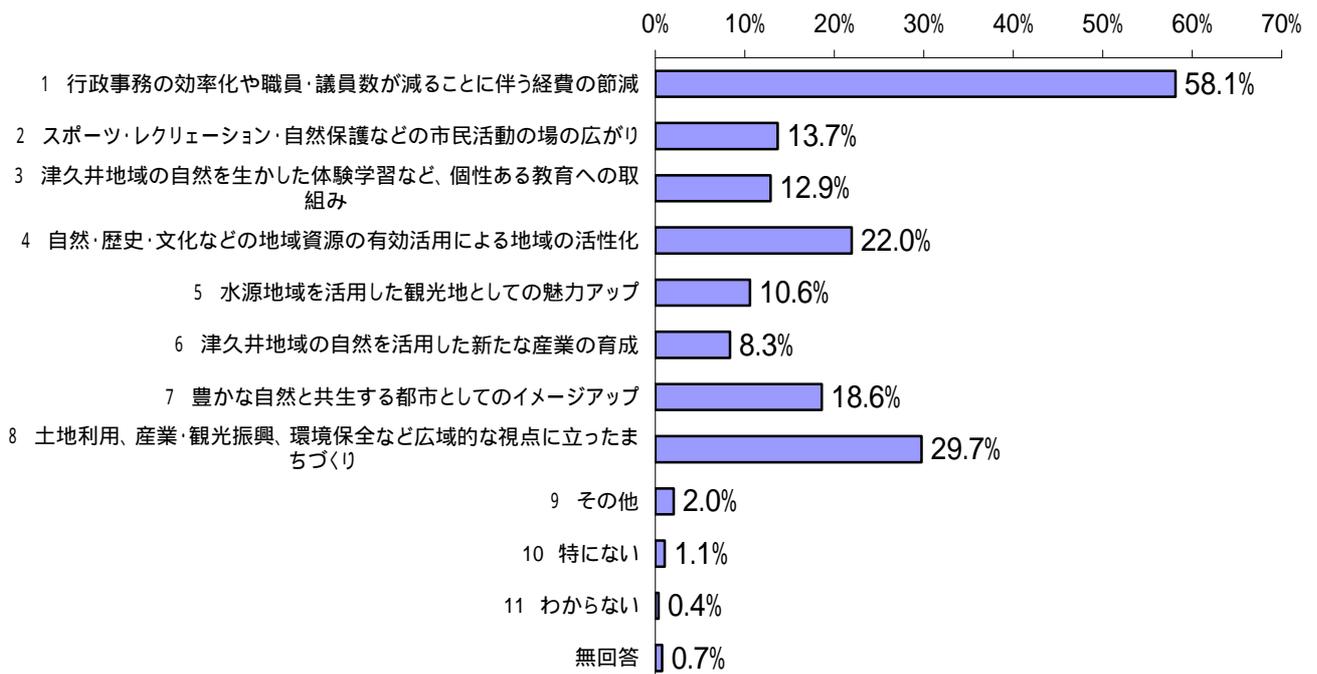
(は2つまで)

[n = 1,617]

1. 行政事務の効率化や職員・議員数が減ることに伴う経費の節減	58.1%
2. スポーツ・レクリエーション・自然保護などの市民活動の場の広がり	13.7%
3. 津久井地域の自然を生かした体験学習など、個性ある教育への取組み	12.9%
4. 自然・歴史・文化などの地域資源の有効活用による地域の活性化	22.0%
5. 水源地域を活用した観光地としての魅力アップ	10.6%
6. 津久井地域の自然を活用した新たな産業の育成	8.3%
7. 豊かな自然と共生する都市としてのイメージアップ	18.6%
8. 土地利用、産業・観光振興、環境保全など広域的な視点に立ったまちづくり	29.7%
9. その他	2.0%
10. 特にない	1.1%
11. わからない	0.4%
(無回答)	0.7%

「合併するべきである」、「合併することもやむをえない」と答えた方に、合併した場合の効果をお聞きしたところ、「行政事務の効率化や職員・議員数が減ることに伴う経費の節減」(58.1%)が最も高く、「土地利用、産業・観光振興、環境保全など広域的な視点に立ったまちづくり」(29.7%)、「自然・歴史・文化などの地域資源の有効活用による地域の活性化」(22.0%)、「豊かな自然と共生する都市としてのイメージアップ」(18.6%)と続いています。(図表3-2)

<図表3-2-1> 合併した場合の効果



3 - 3 合併に否定的な理由

「合併による利点があるとは思えないから」(54.6%)が最も高い割合となっています。

問3 - 3 . 問3で「4 できれば合併するべきではない」「5 合併するべきではない」とお答えした方におうかがいします。

あなたが「できれば合併するべきではない」「合併するべきではない」と思われた理由は何ですか。(は2つまで)

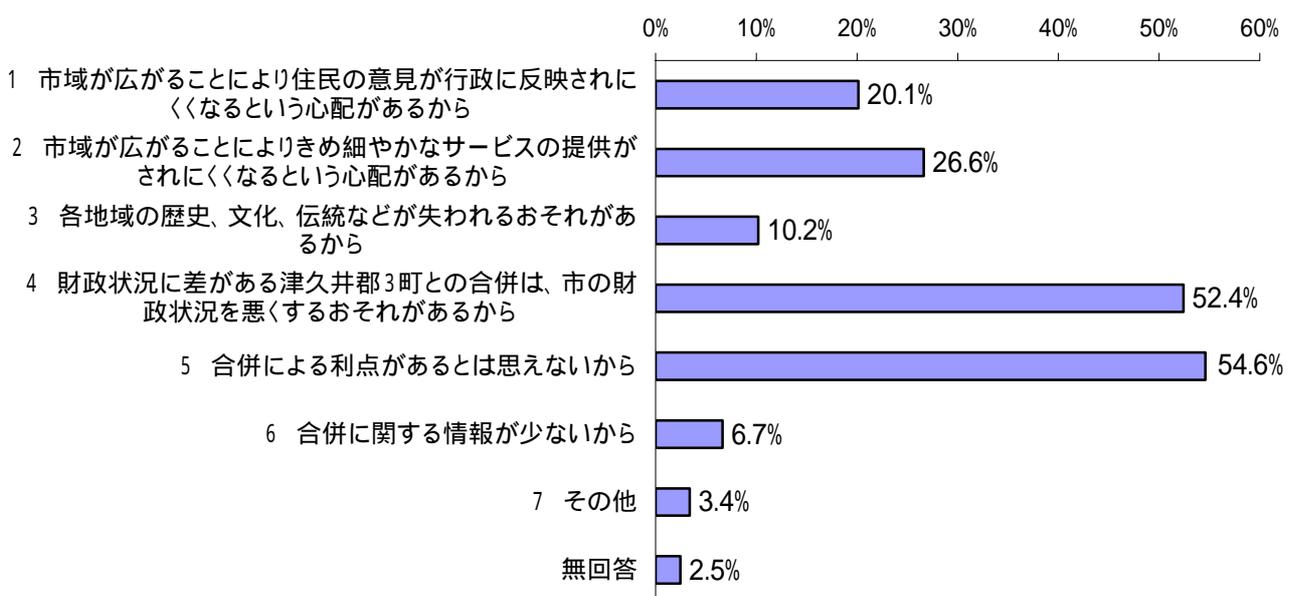
[n = 1, 097]

1 . 市域が広がることにより住民の意見が行政に反映されにくくなるという心配があるから	20.1%
2 . 市域が広がることによりきめ細やかなサービスの提供がされにくくなるという心配があるから	26.6%
3 . 各地域の歴史、文化、伝統などが失われるおそれがあるから	10.2%
4 . 財政状況に差がある津久井郡3町との合併は、市の財政状況を悪くするおそれがあるから	52.4%
5 . 合併による利点があるとは思えないから	54.6%
6 . 合併に関する情報が少ないから	6.7%
7 . その他	3.4%
(無回答)	2.5%

「できれば合併するべきではない」「合併するべきではない」と答えた方に、合併に否定的な理由をお聞きしたところ、「合併による利点があるとは思えないから」(54.6%)が最も高く、「財政状況に差がある津久井郡3町との合併は、市の財政状況を悪くするおそれがあるから」(52.4%)、「市域が広がることによりきめ細やかなサービスの提供がされにくくなるという心配があるから」

(26.6%)、「市域が広がることにより住民の意見が行政に反映されにくくなるという心配があるから」(20.1%)と続いています。

<図表3 - 3 - 1> 合併に否定的な理由



4 自由意見

問4. 合併協議に関することについて意見がございましたら自由意見欄にお書きください。

回答者数：1,378人

延べ件数：1,653件

合併協議についての意見が1,378人より寄せられた。1人で2つ以上の内容の記入があった場合には、これを1件とせず延べ件数として集計したので、件数は回答者数よりも多くなっている。

合併の賛否とその理由に関すること	568件
合併協議の進め方と住民への周知に関すること	379件
合併の枠組みに関すること	92件
まちづくり全般と行政全般に関すること	465件
その他合併に関すること	87件
合併以外に関すること	62件

(主な意見)

(1) 合併の賛否とその理由に関すること

合併に肯定的な意見では、合併による行政運営の効率化等による経費の節減や津久井地域の自然と共生することによる効果をあげる意見のほか、市の発展に期待する意見や財政が苦しい津久井地域を支援する必要があるなどの意見が多い。

合併に否定的な意見では、合併による利点がない、合併することで市域が広がると住民の意見が行政に反映されにくくなる、財政状況が悪化する、合併よりも市内の施策を充実すべきとの意見が多い。

合併によりパンフレットに書かれているようなメリットがあるが、それを生かすかどうかは効率的な行財政運営にかかっていると思う。住民自治、公正で透明な行政運営の観点から意見交換、公聴、広報活動などを取り入れ検討を進めて、よりよい街にできるのならば合併してもよいと思う。

合併し、一つの市にする事で地域に対する共通の価値観が生まれてくると思うので、長い目で見ても地域にとってプラスになると思う。相模原市民の立場で言えば、自然の豊かさを市に加える事でふるさととしての価値が高まると思う。

津久井郡3町と合併することにより、自然と共生する都市ができてよいと思います。少子高齢社会に向けての都市環境がよくなっていくといいと思います。

津久井郡3町は高齢化に伴う行政サービスが現状の財政では確保できない。またその他の行政サービスも相模原市に比べると弱い。隣接する自治体として統合し隣町を支援することが最終的には全体の幸せにつながると考える。確かに合併することで、相模原市の行政コストは増えるが効率化の工夫で十分可能を考えるし、またそういう努力はすべきものと思う。

経費節減などを考えると合併もやむを得ないと思うが、合併以外にもできることから経費節減を心がけていかないと、合併しても何も変わらないと思います。合併して良かったという意見もあまり聞こえてこないと思うのです。

合併しても財政基盤が強くなるとは思えないし、効率的な行政運営も合併しなくてもやってほしいし、やるべきだと思う。合併することで市域が広がると住民の意見が行政に反映されにくくなり、合併による利点が相模原市民にはないと思う。

相模原市の側に立てば、津久井3町と合併することのメリットは少ないと思う。津久井3町の側に立っても経済的結びつき（城山町を除く）の薄い相模原市と合併することにメリットがあるのか疑問を感じる。もう一度白紙に戻し、慎重に検討すべきだと思う。

我が家では住民税等、税金の面では相模原市に結構払っています。なのにゴミ収集等以外ではあまり相模原市の恩恵に預かっている感がありません。その上、財政状況のよくない町と合併したら更に負担が多くなることになるでしょう。合併よりも先に市民にもっとよりよいサービスをするべきです。市内の行政サービスを受ける際、民間企業のような心地よいサービスを受けたことがありません。合併特別債をだすなどともってのほかです。ただの借金ですから…。

(2) 合併協議の進め方と住民への周知に関すること

合併協議を進めるにあたっては、市民に合併によるメリット、デメリットを分かりやすく示した上で、十分な説明や広報を行い、市民の意見を聴いた上で進めるべきであるという意見が多い。また、住民投票を行うべきであるという意見もある。

なし崩しではなく、多くの意見の下、賛同を得られるようであれば良いと思う。また、市政の将来を決める上で多くの未成年の意見を聞いて見ることも大切だと思う。少数派となる町村の、特に高齢者への行政サービスが低下しないことを望む。

今の相模原市だけでも大きい市であるのに、合併してこれ以上大きくなっても相模原市にとっては利点どころか大きな問題や負担が出てくると思う。安易に合併してしまうよりも経費や予算を見直し、やってみるべき事はいくらでもあると思う。合併してもよくなりません…ではすまないし、市民は納得いかない。それだけ重大な事なのだから市民の意見をよく聞いて慎重に検討してほしい。良い事ばかりではないと思います。さまざまな問題が出てくると思う。

合併協議の進行を早め、なるべく早く議論を出すことも重要であると思う。

合併することがあまり知られていないことは問題ではないか。同時に合併によるメリット・デメリットを提示し、すでに合併した自治体からの意見を参考にしたい。そこをもっと市民に知らせ考えさせてゆくべきでは。

国県よりの圧力で合併を推進しているように見える。もっとコミュニティごとに説明会及び討論会を活発に行うべきだ。

相模原・津久井地域の合併が実現した場合、現在の中核市から政令指定都市へ移行するための1施策となるか、相模原市の将来像にあわせて説明していただきたいです。

市民の大半から合併要望があったのか疑問であり、行政のみで行われているように見えます。また、協議会も行政側の人ばかりと思われ一般市民の参加が非常に少なく、各地区自治会等での意見吸い上げが実施されていないようです。

検討期間が短すぎる。もっと検討し、市民の意見を上げるべき。

新聞を読んでいなかったということもありますが、合併に関して少しも知りませんでした。私と同世代のほとんどの人が知らないと思いますし、興味がないと思います。そこでもっと色々なチャンネルを使い、合併の有意義性を訴えていくべきだと思います。

各地区ごとに説明会を開き、コンセンサスを得た上で、市民投票で決定したらいいと思う。

合併した場合には、具体的に職員・議員が何人減っていくら経費を削減できたか、その他合併の効果と弊害について具体的に開示してほしいです。さらに行政サービスの質を高めるために、継続的に市民の声を市政に反映させる仕組みを構築してほしいです。そのためには、合併協議の段階からこれらの仕組みを繰り上げて、市民にその内容を納得してもらうことが必要だと思います。

(3) 合併の枠組みに関すること

1市3町あるいは藤野町を含めた1市4町で合併すべきとの意見があるほか、城山町だけとの合併や津久井郡4町での合併をすべきとの意見がある。

一方津久井地域以外では、地域が隣接している町田市との合併を希望する意見が多く、座間市や大和市、愛川町との合併を希望する意見もある。

津久井との合併よりも、地域的に近い町田市との連携を深めて欲しい。特に教育や福祉などについて町田市のほうが進んでいるので、その部分を取り入れ、相模原市が進んでいる官公庁や公団事業などを共有する。

新聞等の報道で城山町長が合併に際し、合併特例法の適用期限にとらわれずに議論を尽くすべきとの姿勢があると聞いています。城山町が反対の場合は飛び地での合併もあると聞きましたが、藤野町も含め、1市4町になるような合併を期待しています。

城山町、津久井町、相模湖町、藤野町、4町で合併すれば良いと思います。相模原市に住んでいる人とは考え方が違うと思います。住んでいる環境が違うのですから。

城山町を間にした飛び地合併は不自然であり効率を害するので、すべきではない。藤野町についても一町のみを残すのは不自然である。時間をかけても城山町、藤野町も合併すべきである。

合併協議は基本的に賛成であるが、その場合は当市にとって近くに隣接していること、かつ行財政基盤強化につながるためのメリットが肝要。例えば町田市との合併による政令都市化を大いに期待する。(相手側の意向とか都府県に広がる問題があるが)

城山町との合併なら地域的に見ても合理的だと思われる。

相模原・津久井地域の合併について、さらに愛川町、清川村も加えて、県内の水源(水は命のもと)を抑えて環境の劣化を防ぐ努力をするべきである。

単純に合併をするのではなく、例えば現在市の規模としては比較的大都市の相模原市を2つに分割して、一方を津久井郡3町ともう一方を隣接の厚木市等と分割合併する事など可能でしょうか。

今回の計画では愛川町が入っていないため、地理的に分離した形となっています。これが心に懸かります。どうして愛川町が同意しないのかも気になります。愛川町が入るのであれば合併には大賛成です。

歴史的な関係・米軍(キャンプ座間)問題で関係の深い座間市か商業・横浜線での関係の深い町田市と協議した方が良いのでは? 津久井との合併では住民税などの増税になってしまうのではないかと。(将来的には)

藤野町との合併についてもできるだけ迅速に進めてほしい。将来的には座間市や大和市との合併なども検討し、政令市を目指してほしい。難しい課題ではあるが、町田市の神奈川県への編入、相模原市との合併についても検討してほしい。

規模が小さい町と合併するよりも、座間市や町田市と合併して、政令指定都市を目指すべきだ。とにかく座間市はもともと相模原市と一緒にだったから、あと合併したら神奈川県に属するのではなく、東京都に属するべきだ。

(4) まちづくり全般と行政全般に関すること

合併により地域全体の産業、観光の発展を希望する意見や交通網の充実・改善を希望する意見、子育て支援や学校給食など福祉・教育の充実を求める意見がある。

また、合併による議員数や職員数の削減をすべきとの意見も多い。

一方、合併した場合でも、都市内分権を行い、住民の意見が反映されるシステムづくりをすべきとの意見もある。

相模湖の観光開発の可能性、交通等の充実、市内中央部分の交通網、自然保護、市の良い面が生かされ、財政面でも潤えるよう検討して下さい。いつまでも自然・産業の両面ですばらしい都市であり続けていって下さい。とても住みやすく良い町、市だと思っていますので。

何より大切な事は合併する事により、全ての地域にプラスにならなければいけないと思うし、それぞれの歴史や文化、伝統が守られなければいけないと思う。その上で地域全体の産業、観光の発展と共に環境保護等、住みやすい町づくりを進めて欲しい。

全国的に合併している地域が多く、合併することにより地域の活性化や無駄な経費の削減につながります。また、自然豊かな地域としてより多くの相模原市を知ってもらえるようになると思います。都心にはない「癒し」の町として、どんどん活性化してほしいです。

子育て支援については、相模原市制度に統合するということがありますが、今後も城山町、津久井、相模湖町の持っている良い制度も、新相模原市に生かしていただきたいと思います。

・合併支援措置又は合併特例債の活用、又早期人口100万以上の特権を活用し、未来の相模原市の発展に活用すべきだ。

・一般職員特別職員等の人件費を削減し、効率の良い財政を図るべきである。

合併することによって、検診や給食のあり方など、住民にとってよりよい方向に統合され、活かされていて嬉しく思う。しかし、少子化対策などもうたっているのなら、待機児童削減に向けて、新しい取り組みなど、合併した後の目標や取り組みをもっと明確にして欲しいと感じた。

合併して思い切った職員の削減と議員定数を見直すべきだ。中途半端な削減では合併は意味がないし、やるべきでない。民間企業の血の出るような努力を見習うべきだ。役所の窓口業務などで、定型的な業務はどんどん委託化するなど、事務の大幅な効率化とコストダウンをはかるべきだ。

町づくりが合併すると大きく変わるような事をPRしているが、それぞれの地域環境にあった行財政の効率化を図れば良いと思う。相模原市としても交通の利便性の向上、新たな産業の誘致等、推進すべき事柄が多々ある。合併特例債目当てみたいな事はやめてください。

合併しても他の大きな市のように、その下の区分を細かくして今まで以上に住民の意見が反映されるシステムづくりを忘れないでほしい。(例えば横浜市のような)

行政のスケールメリットを生かして、メリハリのある事業を行ってほしい。小さな自治体であった地区には今まで不可能だった大きな事業が出来るのではないのでしょうか。複数の自治体が一体になることで、重複する事務も減らして欲しい。

合併を期に行政特区申請など、他の自治体に見られない特徴のある街づくりを考えてもらいたい。治安の安定した住みやすい環境を整える工夫も推進して欲しい。

合併することで他の3町がもらえているお金が使えるとか、特例債で大きな設備投資が可能だとか、お金をたくさん使えて良いとアピールしているが、いかに借入をなくし未来に負の財産を残さないことが大切だと思う。相模原は他の市町村に比べても福祉や厚生面で遅れをとっていると思う。大掛かりなものに手を出すより先に、そういった細かい面を充実させ、それから合併などを考えれば十分だと思う。

う。

合併により行政区域が広がり、新たな町作りや各種行政施策の実施が可能となるのは望ましいことであるが、そのためには、行政の一体的運営、全体的な調和のある発展を図る必要があり、広域化に伴い当面生ずる行政サービスの低下を極力防止するとともに、特に住民の利便を図るための交通網の整備、各地域の歴史、文化、伝統などが失われないよう、充分留意する必要がある。また、全市的な観点から、早急に公共施設の統廃合、補助金などの整理統合も図るべきである。

(5) その他合併に関すること

新市の名称に関する意見や学校給食のあり方に関する意見、アンケートの実施時期に関する意見がある。

新市となった時、名称や市・町の木などが全て現・相模原市のものになってしまうことに対して、城山町、津久井町、相模湖町の町民の皆さんがどう思われるのかが知りたいです。合併して利点があるとはいえ、淋しく思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

合併することで、郡としての機能もアップするのでは。ただ、市名を“相模原”とするのはせっかくの山や水源地を含めた地域となるのに原っぱのイメージのままでは名と新しい土地とは他からは見えないのでは。

学校給食のあり方について、相模原市、相模湖町も中学校でも完全給食にした方が良いと思います。働くお母さんが増えているため、給食はとてもありがたい。

城山、津久井町で中学生の完全給食が行われていることを知り、相模原市でも弁当でなく、合併したらよいところを見習って完全給食を働く若いお母さんのために協力してあげたらどうかと思います。

合併が決まってから今回のようなアンケートを住民に聞くというのは逆ではないか。最初から合併ありきでは困る。行政はもっと全住民の意見を早く聞いてほしい。何事も。

「合併すべきである」が前提で議論されているように、広報、資料等を読んでいると感じられる。関係者の皆さんは一所懸命努力されているのは間違いありませんが、「べき論」になってしまうとまずいです。まだまだ相模原市としてやる事は多く、問題も多いと思っています。まず「相模原市」を全国一にすべく努力が大切です。

合併を検討することも大事だけれど、経費の節減も大事である。しかし現在の市民のためのサービス向上の方がもっと大切だと思います。

調査結果の集計表

問1 合併協議の認知

	調査数	知っていた	知らなかった	無回答
全体	3532	79.6	20.3	0.1
[性別]				
男性	1674	80.3	19.7	0.0
女性	1839	79.0	20.9	0.1
[年齢別]				
20歳代以下	481	65.7	34.3	0.0
30歳代	746	71.3	28.7	0.0
40歳代	536	79.7	20.1	0.2
50歳代	485	78.8	21.2	0.0
60歳以上	1256	90.1	9.8	0.1
[地域別]				
北部地域	2007	82.4	17.6	0.0
南部地域	1502	75.7	24.2	0.1
[居住地区別]				
地区1	397	79.8	19.9	0.3
地区2	188	93.6	6.4	0.0
地区3	807	80.7	19.3	0.0
地区4	305	78.0	22.0	0.0
地区5	140	92.9	7.1	0.0
地区6	170	82.9	17.1	0.0
地区7	335	75.2	24.8	0.0
地区8	81	82.7	16.0	1.2
地区9	478	76.8	23.2	0.0
地区10	160	70.6	29.4	0.0
地区11	252	73.4	26.6	0.0
地区12	130	79.2	20.8	0.0
地区13	66	75.8	24.2	0.0
[居住歴別]				
5年未満	504	63.5	36.5	0.0
5年以上10年未満	420	71.7	28.1	0.2
10年以上20年未満	665	76.5	23.5	0.0
20年以上	1923	86.4	13.5	0.1

地区別町・字一覧

地区1	相原・大山町・西橋本・二本松・橋本・橋本台・東橋本・元橋本町
地区2	大島・上九沢・下九沢
地区3	相生・青葉・小山・向陽町・小町通・相模原・すすきの町・清新・中央・千代田・並木・光が丘・氷川町・富士見・星が丘・松が丘・緑が丘・宮下・宮下本町・南橋本・弥栄・矢部・横山・横山台・陽光台
地区4	鹿沼台・上矢部・共和・高根・東淵野辺・淵野辺・淵野辺本町・矢部新田・矢部新町・由野台
地区5	田名・田名塩田
地区6	上溝
地区7	鵜野森・大野台・古淵・西大沼・東大沼・若松
地区8	当麻・下溝
地区9	旭町・上鶴間・上鶴間本町・栄町・相模大野・文京・御園・豊町
地区10	相南・東林間・松が枝町
地区11	麻溝台・北里・相模台・相模台団地・桜台・双葉・南台
地区12	新磯野・相武台・相武台団地
地区13	磯部・新戸

問1 - 2 合併協議に関する情報の取得方法

	調査数	「合併協議会だより」を見て知った	ホームページなどで知った	タウンミーティングに参加して知った	新聞・テレビなどの情報により知った	「広報さがみはら」を見て知った	家族や知人から聞いて知った	その他	無回答
全体	2812	37.8	3.9	2.0	44.2	67.0	26.2	2.1	0.6
【性別】									
男性	1344	38.8	5.4	1.9	50.7	64.4	19.7	2.7	0.4
女性	1452	37.3	2.5	2.1	38.5	69.4	32.3	1.6	0.8
【年齢別】									
20歳代以下	316	29.7	4.1	0.3	37.0	49.1	46.5	3.2	0.6
30歳代	532	39.1	5.8	1.3	36.1	62.8	33.1	1.9	0.2
40歳代	427	36.5	5.9	1.2	43.1	62.8	27.6	4.4	0.5
50歳代	382	31.7	2.9	3.9	48.7	68.6	25.1	1.8	0.3
60歳以上	1132	42.6	2.7	2.5	49.3	75.3	17.0	1.1	0.9
【地域別】									
北部地域	1653	38.0	4.4	2.2	43.6	67.2	29.7	2.1	0.5
南部地域	1137	37.9	3.3	1.8	45.4	67.0	21.2	2.2	0.8
【居住地区別】									
地区1	317	39.4	2.8	2.8	41.3	64.4	36.6	1.9	0.3
地区2	176	38.1	4.5	1.7	41.5	70.5	30.1	0.6	0.6
地区3	651	38.6	4.0	2.0	44.7	66.8	26.7	3.5	0.6
地区4	238	34.0	6.3	1.3	44.5	70.6	24.8	0.8	0.0
地区5	130	37.7	6.2	4.6	44.6	68.5	38.5	0.0	0.8
地区6	141	39.0	4.3	1.4	43.3	63.8	27.7	1.4	0.7
地区7	252	42.1	1.6	1.2	44.8	68.3	25.0	1.6	0.8
地区8	67	34.3	3.0	1.5	53.7	65.7	17.9	1.5	1.5
地区9	367	34.1	5.4	1.6	45.0	66.8	18.8	3.0	0.8
地区10	113	36.3	3.5	1.8	43.4	62.8	17.7	1.8	0.0
地区11	185	44.9	2.7	2.7	46.5	69.2	22.2	1.6	0.5
地区12	103	34.0	1.9	2.9	43.7	66.0	19.4	2.9	1.0
地区13	50	36.0	0.0	0.0	44.0	68.0	32.0	2.0	2.0
【居住歴別】									
5年未満	320	43.8	6.3	0.9	39.4	63.8	22.5	2.5	0.6
5年以上10年未満	301	36.2	6.6	0.7	40.2	64.5	25.2	3.3	0.7
10年以上20年未満	509	36.1	3.1	2.0	44.4	66.2	26.5	1.4	0.2
20年以上	1662	37.7	3.2	2.5	45.9	68.4	27.1	2.0	0.7

問2 全国的に合併協議が進められていることについて

	調査数	合併により、効率的な行政運営を行う必要がある	合併により、自らの責任を行政運営を行う必要がある	合併により、経費を削減する必要がある	合併により、社会情勢の変化に対応できるような対応が必要がある	合併を進めるべき	合併を検討するよりも、改革を進めるべき	合併を検討するよりも、地域の歴史や文化を尊重するべき	合併を検討するよりも、人や企業が集まる地域の魅力を高めるべき	その他	わからない	無回答
全体	3532	24.2	28.1	44.3	28.5	38.2	18.4	21.8	2.7	4.8	1.1	
【性別】												
男性	1674	28.6	33.9	49.7	32.0	35.7	17.5	21.1	3.3	2.7	0.7	
女性	1839	20.2	22.9	39.5	25.3	40.7	19.4	22.5	2.3	6.5	1.4	
【年齢別】												
20歳代以下	481	24.1	19.3	29.9	26.4	41.0	18.9	22.5	1.9	5.6	0.6	
30歳代	746	18.9	20.8	40.8	23.3	44.4	17.8	25.7	4.3	6.2	1.1	
40歳代	536	23.1	27.8	45.1	25.9	41.2	19.4	24.1	2.8	4.1	0.7	
50歳代	485	22.9	29.3	49.9	27.6	35.3	20.4	19.6	3.9	2.7	0.8	
60歳以上	1256	28.4	35.7	49.8	34.0	33.4	17.5	18.9	1.7	4.4	1.5	
【地域別】												
北部地域	2007	23.6	25.8	42.8	27.2	39.9	19.8	23.1	2.9	4.7	1.0	
南部地域	1502	25.0	31.2	46.7	30.4	36.2	16.6	20.2	2.5	4.6	1.3	
【居住地区別】												
地区1	397	21.4	22.9	38.3	24.7	45.6	22.2	22.9	2.3	5.5	0.5	
地区2	188	18.6	21.3	36.2	22.3	42.0	22.9	22.3	3.7	5.9	2.1	
地区3	807	25.7	29.0	44.5	30.9	37.8	19.1	23.8	3.0	3.8	1.0	
地区4	305	24.6	24.6	47.2	24.3	39.3	17.4	24.6	2.3	3.6	1.6	
地区5	140	22.1	27.9	45.0	28.6	32.1	18.6	20.7	2.9	5.0	0.7	
地区6	170	24.1	22.9	42.9	24.7	41.2	20.0	20.6	4.1	7.1	0.6	
地区7	335	23.0	31.6	44.2	29.3	34.3	13.4	17.3	2.1	6.0	2.4	
地区8	81	27.2	30.9	40.7	22.2	37.0	25.9	14.8	1.2	0.0	3.7	
地区9	478	25.7	30.5	50.4	31.0	37.0	15.5	20.9	2.7	4.8	0.8	
地区10	160	31.3	32.5	50.0	33.1	31.9	16.3	20.6	2.5	3.8	1.3	
地区11	252	24.6	37.3	45.2	32.9	35.3	21.0	20.2	3.6	4.8	0.4	
地区12	130	22.3	23.1	43.1	33.1	43.1	15.4	23.1	2.3	3.1	0.8	
地区13	66	19.7	24.2	43.9	19.7	37.9	16.7	28.8	1.5	6.1	0.0	
【居住歴別】												
5年未満	504	24.2	26.4	40.1	28.2	39.7	16.7	25.0	3.0	6.7	1.2	
5年以上10年未満	420	22.9	24.3	45.2	28.1	39.8	17.9	23.8	3.8	4.8	1.2	
10年以上20年未満	665	23.2	25.1	44.2	26.5	39.5	18.5	21.1	3.0	5.3	0.6	
20年以上	1923	24.9	30.4	45.4	29.4	37.2	19.1	20.9	2.4	4.0	1.2	

問3 相模原市が津久井郡3町と合併することについて

	調査数	合併するべきである	合併することやむを得ない	どちらともいえない	できれば合併するべきではない	合併するべきではない	わからない	無回答
全体	3532	15.3	30.5	17.3	18.8	12.3	5.2	0.7
【性別】								
男性	1674	22.3	30.5	13.4	16.0	13.6	3.9	0.3
女性	1839	9.0	30.4	20.8	21.5	11.2	6.2	0.9
【年齢別】								
20歳代以下	481	11.6	30.1	23.1	17.7	12.3	5.2	0.0
30歳代	746	8.7	28.8	23.9	20.2	13.7	4.7	0.0
40歳代	536	12.9	28.5	17.0	21.1	14.4	5.8	0.4
50歳代	485	16.9	30.9	13.6	19.6	13.2	5.2	0.6
60歳以上	1256	21.3	32.1	12.8	17.1	10.5	4.9	1.4
【地域別】								
北部地域	2007	14.7	29.0	18.0	19.1	13.2	5.3	0.6
南部地域	1502	16.2	32.4	16.4	18.4	11.2	4.7	0.7
【居住地区別】								
地区1	397	13.4	26.7	17.1	20.9	15.9	5.8	0.3
地区2	188	15.4	29.3	15.4	21.8	14.4	3.2	0.5
地区3	807	15.5	30.0	18.3	18.1	12.3	4.8	1.0
地区4	305	15.1	28.9	19.3	17.7	10.8	7.9	0.3
地区5	140	15.7	32.9	20.0	15.7	12.9	2.9	0.0
地区6	170	12.4	26.5	17.1	22.4	14.7	6.5	0.6
地区7	335	16.7	29.6	18.2	19.4	11.0	4.2	0.9
地区8	81	14.8	35.8	16.0	18.5	14.8	0.0	0.0
地区9	478	14.6	35.6	15.7	17.6	10.7	5.2	0.6
地区10	160	24.4	31.3	13.8	15.6	10.6	3.8	0.6
地区11	252	15.9	30.2	14.7	20.6	12.7	5.2	0.8
地区12	130	12.3	33.8	19.2	16.2	9.2	7.7	1.5
地区13	66	15.2	27.3	19.7	22.7	10.6	4.5	0.0
【居住歴別】								
5年未満	504	13.3	30.4	22.8	15.7	9.3	7.9	0.6
5年以上10年未満	420	10.5	34.3	20.2	17.9	11.0	5.7	0.5
10年以上20年未満	665	14.1	27.5	19.5	20.0	12.6	5.7	0.5
20年以上	1923	17.3	30.7	14.4	19.5	13.3	4.0	0.8

問3 - 2 合併した場合の効果

	調査数	行政事務の効率化や職員数の削減に伴う経費の節減	スポーツ・市民活動の場の広がり	自然を生きかした体験学習などの取り組み	自然・歴史・文化などによる地域の活性化	自然・歴史・文化などによる地域の活性化	水源地域としての魅力アップ	成用した新たな産業の育成	津久井地域の自然を活性化	アツ市としてのイメージ	豊かな自然と共生する	土地利便、環境保全などまちづくり	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1617	58.1	13.7	12.9	22.0	10.6	8.3	18.6	29.7	2.0	1.1	0.4	0.7			
【性別】																
男性	884	62.0	11.5	9.7	21.5	12.1	7.8	18.0	32.4	2.0	0.7	0.1	0.9			
女性	724	53.6	16.2	16.7	22.7	8.6	9.0	19.6	26.5	2.1	1.5	0.7	0.6			
【年齢別】																
20歳代以下	201	43.8	24.9	16.9	21.4	6.5	8.5	18.9	31.3	2.5	2.5	0.0	0.0			
30歳代	280	52.1	16.4	18.9	18.9	8.2	5.4	18.2	31.1	3.2	1.4	0.4	1.4			
40歳代	222	59.9	13.1	18.9	20.3	4.1	10.4	16.2	29.7	3.6	1.8	0.9	0.0			
50歳代	232	62.5	14.7	11.2	22.0	8.2	10.3	21.6	28.0	1.3	0.9	0.4	1.3			
60歳以上	670	63.1	9.0	7.8	24.0	15.7	8.2	18.7	29.1	1.2	0.3	0.3	0.7			
【地域別】																
北部地域	878	56.0	14.2	12.3	22.2	10.1	8.4	19.2	29.8	2.6	1.1	0.6	0.6			
南部地域	729	61.0	12.8	13.4	21.8	11.1	8.2	17.8	29.8	1.4	1.0	0.1	0.8			
【居住地区別】																
地区1	159	57.9	17.0	9.4	25.8	8.2	10.7	18.9	27.7	3.8	0.6	0.6	1.3			
地区2	84	51.2	14.3	9.5	25.0	9.5	8.3	19.0	31.0	3.6	1.2	0.0	0.0			
地区3	367	55.0	12.5	14.4	20.7	12.3	8.4	19.3	29.2	2.2	1.1	0.8	0.8			
地区4	134	61.2	11.2	13.4	18.7	10.4	3.7	21.6	27.6	2.2	1.5	0.7	0.0			
地区5	68	60.3	16.2	11.8	23.5	5.9	11.8	13.2	35.3	1.5	1.5	0.0	0.0			
地区6	66	48.5	21.2	9.1	24.2	7.6	9.1	21.2	36.4	3.0	1.5	0.0	0.0			
地区7	155	65.8	12.3	12.9	25.8	9.7	8.4	13.5	29.0	0.6	1.9	0.0	0.6			
地区8	41	56.1	9.8	4.9	31.7	9.8	7.3	19.5	31.7	2.4	0.0	0.0	0.0			
地区9	240	65.0	12.1	15.0	18.3	9.2	6.7	23.3	29.2	2.1	0.0	0.0	0.4			
地区10	89	61.8	13.5	12.4	20.2	11.2	10.1	14.6	27.0	0.0	1.1	1.1	1.1			
地区11	116	56.9	12.9	14.7	19.0	12.9	11.2	19.0	30.2	1.7	1.7	0.0	0.9			
地区12	60	48.3	15.0	18.3	26.7	13.3	5.0	13.3	30.0	1.7	1.7	0.0	1.7			
地区13	28	50.0	17.9	3.6	21.4	25.0	10.7	7.1	42.9	0.0	0.0	0.0	3.6			
【居住歴別】																
5年未満	220	50.5	17.7	17.7	21.4	11.4	7.7	14.1	35.9	3.2	0.0	0.0	1.4			
5年以上10年未満	188	55.9	16.5	14.4	20.2	10.1	8.5	21.3	25.5	3.2	1.1	0.5	0.5			
10年以上20年未満	277	59.6	12.6	17.0	22.0	9.7	6.5	18.8	27.8	1.4	1.4	0.4	0.7			
20年以上	923	60.2	12.2	10.2	22.5	10.6	9.0	19.1	29.8	1.7	1.2	0.4	0.7			

問3 - 3 合併に否定的な理由

	調査数	う心配があるから	映民の意見が行政に反	住民の意見が行政に反	る心配があるから	きめ細やかなサービス	の提供がされるから	各統などの失われ、文化、	伝統などの失われ、文化、	各地域の歴史、文化、	すは、それが悪くなる	併は、状況が悪くなる	財は、状況が悪くなる	とは思えないから	合併による利点がある	ないから	合併に関する情報が少	その他	無回答
全体	1097	20.1	26.6	10.2	52.4	54.6	6.7	3.4	2.5										
【性別】																			
男性	496	15.3	24.6	10.5	59.1	53.0	7.5	4.0	2.4										
女性	601	24.1	28.3	10.0	46.9	55.9	6.0	2.8	2.5										
【年齢別】																			
20歳代以下	144	22.2	26.4	13.9	43.1	57.6	6.9	4.9	3.5										
30歳代	253	16.6	22.5	8.3	52.6	56.9	7.9	5.9	3.2										
40歳代	190	17.9	24.2	13.7	53.7	60.0	5.8	3.7	2.6										
50歳代	159	24.5	30.2	9.4	53.5	50.9	8.8	1.3	0.6										
60歳以上	347	21.0	28.8	8.6	55.0	50.4	5.2	1.7	2.3										
【地域別】																			
北部地域	649	19.9	25.4	8.9	53.8	55.3	6.2	3.1	2.8										
南部地域	445	20.7	27.9	12.1	50.3	53.7	7.4	3.8	2.0										
【居住地区別】																			
地区1	146	16.4	28.1	11.0	47.9	56.2	8.2	2.7	2.7										
地区2	68	22.1	22.1	7.4	67.6	58.8	2.9	4.4	1.5										
地区3	245	20.4	25.3	8.6	53.1	54.7	6.1	2.4	3.7										
地区4	87	26.4	21.8	9.2	58.6	52.9	5.7	3.4	1.1										
地区5	40	32.5	25.0	5.0	52.5	55.0	0.0	5.0	0.0										
地区6	63	6.3	28.6	9.5	49.2	55.6	9.5	3.2	4.8										
地区7	102	18.6	30.4	10.8	52.9	51.0	5.9	5.9	0.0										
地区8	27	11.1	18.5	18.5	63.0	55.6	3.7	0.0	3.7										
地区9	135	23.7	26.7	10.4	50.4	52.6	5.2	3.0	2.2										
地区10	42	19.0	31.0	9.5	45.2	64.3	14.3	4.8	2.4										
地区11	84	25.0	28.6	11.9	47.6	56.0	8.3	3.6	2.4										
地区12	33	21.2	12.1	15.2	45.5	54.5	18.2	3.0	6.1										
地区13	22	9.1	50.0	22.7	50.0	40.9	0.0	4.5	0.0										
【居住歴別】																			
5年未満	126	21.4	27.8	10.3	38.1	59.5	8.7	4.8	1.6										
5年以上10年未満	121	11.6	28.1	9.9	50.4	56.2	7.4	6.6	3.3										
10年以上20年未満	217	24.4	24.4	14.3	48.8	53.9	6.9	4.1	1.8										
20年以上	631	20.0	26.9	8.9	56.7	53.6	6.0	2.2	2.7										

問3 相模原市が津久井郡3町と合併することについて(問1 合併協議の認知度とのクロス集計)

	調査数	合併するべきである	合併することやむをえない	どちらともいえない	できれば合併するべきではない	合併するべきではない	わからない	無回答
全体	3532	15.3	30.5	17.3	18.8	12.3	5.2	0.7
[問1 合併協議の認知]								
知っていた	2812	16.3	31.4	15.4	19.6	12.7	4.1	0.5
知らなかった	718	11.4	27	24.7	15.6	10.6	9.5	1.3

問3 相模原市が津久井郡3町と合併することについて(問2 全国的に合併協議が進められていることについてのクロス集計)

	調査数	合併により、運営を行う必要がある	合併により、行政運営を行う必要がある	合併により、必要がある	合併により、必要がある	合併により、必要がある	合併により、必要がある	合併により、必要がある	合併により、必要がある	その他	わからない	無回答
全体	3532	24.2	28.1	44.3	28.5	38.2	18.4	21.8	2.7	4.8	1.1	
合併するべきである	540	59.4	60.0	70.4	55.6	5.9	2.8	3.3	2.4	0.6	0.4	
合併することやむをえない	1077	36.2	45.5	66.3	45.0	14.8	4.7	7.5	2.1	1.8	0.5	
どちらともいえない	612	14.7	14.5	38.2	20.8	42.8	17.5	22.5	3.9	10.0	2.1	
できれば合併するべきではない	663	3.5	7.4	17.6	8.0	75.3	39.2	42.7	2.1	2.0	0.9	
合併するべきではない	434	2.5	5.8	14.3	4.1	79.3	46.1	49.8	3.9	0.2	1.2	
わからない	182	9.3	7.1	29.1	9.3	25.8	7.7	15.9	3.3	36.8	2.2	

使 用 し た 調 査 票

調査ご協力をお願い

相模原・津久井地域の合併に関する市民アンケート調査

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、相模原市では平成16年1月に津久井郡の城山町、津久井町及び相模湖町からの合併協議の申し入れを受け、平成16年4月1日に相模原市と津久井郡3町により「相模原・津久井地域合併協議会」を設立し、合併協議を進めております。これまで市民の皆様には、「合併協議会だより」や「広報さがみはら」、合併協議会のホームページによりまして、協議された内容をお知らせさせていただくとともに、シンポジウムやタウンミーティングを開催し、合併した場合の将来の相模原市の姿や各種行政サービス、あるいは住民負担がどのようになるのかなどについてご説明するとともにご意見などをおうかがいしております。

市町村合併は、相模原市の将来に大きな影響を与えるものでありますことから、市民の皆様のご理解とご意見等をいただきながら、総合的に判断した上で取り組まなければならない重要な課題であります。

このため市では、市民の皆様が、合併協議について、どのようなお考えや意見をお持ちであるかを、把握させていただくために「相模原・津久井地域の合併に関する市民アンケート調査」を実施することといたしました。

本アンケート調査は、市の住民基本台帳登録者で平成16年4月1日現在で満18歳以上の方のうち、無作為に抽出した方を対象に回答をお願いしています。

つきましては、本アンケート調査についてご理解いただき、回答用紙にご記入のうえ、返送くださいますようお願いいたします。

返送された回答用紙につきましては、本アンケート調査の目的以外には使用いたしません。

なお、合併協議に関する資料を同封いたしますので、ご覧いただきたいと存じます。

また、「広報さがみはら」や「合併協議会だより」、合併協議会のホームページ(<http://www.st-gappei.jp/>)で、合併協議に関する情報をご覧いただけます。

皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成16年11月

相模原市長 小川 勇 夫

【記入上のご注意】

1. 調査票は、ご本人がお答えください。
2. 記入に際しては、鉛筆・ボールペンなどではっきりお書きください。
3. お答えは、設問ごとに**別紙の回答用紙**にご記入ください。
4. ご記入いただいた回答用紙は、11月17日(水)までに同封の返送用封筒に入れて返送してください。
5. このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

問い合わせ先：相模原市企画部広域行政推進課

TEL:(042)769-8206

問3 . 相模原市が津久井郡3町と合併することについてどのようにお考えですか。(は1つだけ)

- 1 . 合併するべきである
- 2 . 合併することもやむをえない
- 3 . どちらともいえない
- 4 . できれば合併するべきではない
- 5 . 合併するべきではない
- 6 . わからない

} → 問3 - 2に進んでください

} → 問3 - 3に進んでください

問3 - 2 . 問3で「1 合併するべきである」「2 合併することもやむをえない」とお答えした方におうかがいします。

相模原市が、津久井郡3町と合併した場合、あなたはどのような効果を期待しますか。

(は2つまで)

- 1 . 行政事務の効率化や職員・議員数が減ることに伴う経費の節減
- 2 . スポーツ・レクリエーション・自然保護などの市民活動の場の広がり
- 3 . 津久井地域の自然を生かした体験学習など、個性ある教育への取組み
- 4 . 自然・歴史・文化などの地域資源の有効活用による地域の活性化
- 5 . 水源地域を活用した観光地としての魅力アップ
- 6 . 津久井地域の自然を活用した新たな産業の育成
- 7 . 豊かな自然と共生する都市としてのイメージアップ
- 8 . 土地利用、産業・観光振興、環境保全など広域的な視点に立ったまちづくり
- 9 . その他 (その他欄にご記入ください。)
- 10 . 特にない
- 11 . わからない

問3 - 3 . 問3で「4 できれば合併するべきではない」「5 合併するべきではない」とお答えした方におうかがいします。

あなたが「できれば合併するべきではない」「合併するべきではない」と思われた理由は何ですか。

(は2つまで)

- 1 . 市域が広がることにより住民の意見が行政に反映されにくくなるという心配があるから。
- 2 . 市域が広がることによりきめ細やかなサービスの提供がされにくくなるという心配があるから。
- 3 . 各地域の歴史、文化、伝統などが失われるおそれがあるから。
- 4 . 財政状況に差がある津久井郡3町との合併は、市の財政状況を悪くするおそれがあるから。
- 5 . 合併による利点があるとは思えないから。
- 6 . 合併に関する情報が少ないから。
- 7 . その他 (その他欄にご記入ください。)

問4 . 合併協議に関することについて意見がございましたら自由意見欄にお書きください。

裏面の設問に進んでください

問5 .最後にあなた自身についてお答えください。

問5 - 1 あなたの性別は。(は1つだけ)

- 1 . 男性 2 . 女性

問5 - 2 あなたの年齢は。(は1つだけ)

- 1 . 10歳代・20歳代 2 . 30歳代 3 . 40歳代 4 . 50歳代 5 . 60歳以上

問5 - 3 あなたのお住まいの地区はどこですか。(は1つだけ)

(番号ごとにアイウエオ順に並んでいます。)

- 1 . 相原・大山町・西橋本・二本松・橋本・橋本台・東橋本・元橋本町
- 2 . 大島・上九沢・下九沢
- 3 . 相生・青葉・小山・向陽町・小町通・相模原・すすきの町・清新・中央・千代田・並木・
光が丘・氷川町・富士見・星が丘・松が丘・緑が丘・宮下・宮下本町・南橋本・弥栄・矢部・横
山・横山台・陽光台
- 4 . 鹿沼台・上矢部・共和・高根・東淵野辺・淵野辺・淵野辺本町・矢部新田・矢部新町・由野台
- 5 . 田名・田名塩田
- 6 . 上溝
- 7 . 鵜野森・大野台・古淵・西大沼・東大沼・若松
- 8 . 当麻・下溝
- 9 . 旭町・上鶴間・上鶴間本町・栄町・相模大野・文京・御園・豊町
- 10 . 相南・東林間・松が枝町
- 11 . 麻溝台・北里・相模台・相模台団地・桜台・双葉・南台
- 12 . 新磯野・相武台・相武台団地
- 13 . 磯部・新戸

問5 - 4 あなたは相模原市に何年お住まいですか。(は1つだけ)

- 1 . 5年未満 2 . 5年以上10年未満 3 . 10年以上20年未満 4 . 20年以上

相模原・津久井地域の合併に関する市民アンケート調査回答用紙

各設問ごとに、当てはまる番号を 印で囲んでください。

問 1	1 2	
問 1 - 2	1 2 3 4 5 6 7	その他欄
問 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9	その他欄
問 3	1 2 3 4 5 6	
問 3 - 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	その他欄
問 3 - 3	1 2 3 4 5 6 7	その他欄
問 4 自由意見		
問 5 - 1	1 2	
問 5 - 2	1 2 3 4 5	
問 5 - 3	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	
問 5 - 4	1 2 3 4	

ご協力ありがとうございました。